

1 教科等名 総合的な学習の時間

2 単元名 防災について考えよう

3 (1) 武蔵野市民科で育成する主な資質・能力 自立 社会参画 3 (2) 詳細項目 情報活用能力 よりよい地域・社会づくりに向けた課題解決能力

4 単元の目標

○知識・技能の習得	・日本の大災害やその被害・特徴について理解する。
○思考力・判断力・表現力等の育成	・災害に対する備えや自分の身近な人を守る方法について自分の考えをまとめ、表現することができる。
○学びに向かう力・人間性等の涵養	・災害や防災について調べたことを通して、災害時に地域に貢献しようとすることができる。

5 単元計画

ねらい	時数	主な学習活動	関連教科 関連団体（連絡先等）
避難訓練や災害の経験を振り返り、災害に応じた安全対策について知り、身近な自然災害についての学習課題をもつ。	2	・「東京防災ノート」を活用して、日本の大災害やその被害・特徴を整理する。 ・武蔵野市の防災施設を知る。 ・自然災害について課題意識をもち、学習内容や単元計画、どんな発表ができるのかを話し合う。	地域防災ネットワーク
避難訓練や災害の経験を振り返り、災害に応じた安全対策について知り、身近な自然災害について課題をもって調べる。	3	・自分の設定した課題に合わせて情報を集める。 ・調べた情報を整理してまとめる。 ・武蔵野市役所防災課の方に発表を聞いていただく。	武蔵野市役所防災課
応急処置の仕方が分かり、できるようにする。	1	・武蔵野消防署より、救命講習を受け、応急処置の仕方を知る。	武蔵野消防署
「自分」「身近な人」「地域（社会）」に対して何ができるのかをまとめる。	3	・学習した内容を整理し、効果的にまとめる方法を考える。 ・よりよいものができるように互いの作品を見合いながらアドバイスをする。	
学習したことを発表し合い、災害に強い街をつくるには何が必要か考える。	2	・学習したことを発表し、まとめたことを伝える。 ・自分たちの発表について振り返ったり、感想を聞いたりする中で、災害に強い街をつくるためには何が必要か、自分には何ができるか考える。	
合計時数			11 時間

6 指導上の工夫（①課題設定→②情報収集→③整理・分析→④発信・実行のサイクルが実現する工夫や手だて等）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの街で発生しやすい災害や自分たちの街の災害対策について学習させることで、自己の課題を明確にもてるようにした。</li> <li>・学習内容や単元計画、発表の仕方を児童とともに話し合うことで主体的に活動できるようにした。</li> <li>・武蔵野市役所防災課の方や地域防災ネットワークの方に直接話を伺う機会を設けることで、理解を深めることができるようにした。</li> <li>・調べたことを整理する際に視点を設けることで、情報を整理する技能を身に付けることができるようにした。</li> <li>・災害に強い街にするためにできることを考えさせることで、社会参画の意識を養った。</li> </ul>
--

7 単元の振り返り

成果（児童・生徒の変容等）	課題	改善策
<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害についての知識を深め、防災意識を高めることができた。</li> <li>・武蔵野市の防災施設や対策を知り、災害時にとるべき対応を考えることができた。</li> <li>・「自分」「身近な人」「地域（社会）」に対して自分が何ができるのか考え、地域の一員として武蔵野の街を守る意識をもつことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回は、学習したことを発信する相手が保護者であった。より広く武蔵野市民に発信できるとよい。</li> <li>・まとめる媒体がスライドのみであったが、発信の相手や伝えたい内容に応じて媒体を選択させる必要があった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域コーディネーターや防災ネットワークの方、市の職員と連携して、発信の場を設定していく。</li> <li>・児童と学習計画を立てるときに、まとめる媒体についても話し合わせ、情報の伝え方を考える時間を設ける。</li> </ul>